

(4) 中富健康科学振興賞 (交付金額：200万円)

平成26年度 中富健康科学振興賞 受賞者履歴	
氏名	池上康男 (いけがみ やすお) 昭和24年生まれ
推薦学会	日本体育学会
現職及び略歴	<p>(学歴及び職歴)</p> <p>1974年(昭49)3月 名古屋大学理学部物理学科卒業 1975年(昭50)5月 名古屋大学総合保健体育科学センター 文部技官 1979年(昭54)4月 同上 助手 1981年(昭56)4月 同上 講師 1988年(昭63)1月 同上 助教授 1997年(平 9)4月 同上 教授 2010年(平22)3月 同上 センター長 2013年(平25)3月 名古屋大学退職 2013年(平25)4月 愛知淑徳大学健康医療科学部スポーツ・健康医科学科 教授 2013年(平25)4月 同上 学科主任</p> <p>(所属学会)</p> <p>日本体育学会、日本バイオメカニクス学会、日本体力医学会、国際バイオメカニクス学会、日本トレーニング科学会、日本スポーツ産業学会、日本水泳・水中運動学会</p> <p>(主な役職等)</p> <p>日本水泳・水中運動学会諮問委員 (平成11年～現在) 日本体育学会理事 (平成17年～22年、25年～現在) 日本体育学会庶務委員長 (平成17年～平成18年) 日本体育学会常務理事 (平成21～22年) 日本体育学会副会長 (平成25～現在) 日本バイオメカニクス学会理事 (平成6年～現在) 日本バイオメカニクス学会編集委員長 (平成11年～平成20年)</p> <p>(学会、諸団体での講師等)</p> <p>日本水泳連盟トレーニングドクター、日本水泳連盟水泳科学研究会、同公認コーチ研修会講師、日本体育協会公認コーチ研修会講師、健康・体力づくり事業財団健康運動指導士養成講習会講師、日本プロゴルフ連盟ティーチングプロ講習会講師</p> <p>(主な著書)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. スポーツとエネルギー. 真興交易医書出版部、東京、1991. (共訳) 2. スポーツ科学の成果と競技力向上. 21世紀と体育・スポーツ科学の発展、日本体育学会第50回記念大会特別委員会編、～日本体育学会第50回記念大会誌～、杏林書院、東京、2000. (共著) 3. 水泳運動、運動学的変数. スポーツバイオメカニクス、朝倉書店、東京、2000. (共著) 4. 身体運動の力学的基礎、スキーにおけるターンのメカニズム. バイオメカニクス、347-353、杏林書院、東京、2004. (共著) <p>(主な原著)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Key features of hip hop dance motions affect evaluation by judges. J Appl Biomech, 2014(共著) 2. A novel comparison between standard and new testing procedures to assess shock absorbency of third generation artificial turfs. Sports Eng, 2014(共著) 3. Dynamics of the support leg in soccer instep kicking. J Sports Sci, 2014(共著) 4. Ball impact dynamics of instep soccer kicking. Med Sci Sports, 2009.(共著) 5. The effect of fatigue on the underwater arm stroke motion in the 100 m front crawl. J Appl Biomech, 2008. (共著) 6. The continuous measurement of the springboard reaction force in gymnastic vaulting. J Sports Sci, 2007.(共著) 7. The effect of muscle fatigue on instep kicking kinetics and kinematics in association football. J Sports Sci, 2006. 8. Segmental dynamics of soccer instep kicking with the preferred and non-preferred legs. J Sports Sci, 2006. 9. Tennis:the effects of grip firmness on ball velocity after impact. Med Science Sports. 1979. (共著)

平成26年度 中富健康科学振興賞 受賞候補者履歴	
氏名	柳川 洋 (やながわ ひろし) 自治医科大学名誉教授 昭和11年生まれ
推薦学会	日本公衆衛生学会
現職及び略歴	<p>(学歴及び職歴)</p> <p>1961年(昭36)3月 金沢大学医学部卒業 1961年(昭36)4月 医療法人河北病院にてインターン開始 1962年(昭37)6月 金沢大学大学院医学研究科(博士課程)入学(公衆衛生学専攻) 1966年(昭41)3月 金沢大学大学院医学研究科修了(医学博士) 1966年(昭41)4月 金沢大学助手[医学部公衆衛生学講座](昭和42年10月まで) 金沢大学在職中、米国ペンシルバニア大学医学部公衆衛生・予防医学講座に留学(昭和42年10月まで) 1967年(昭42)11月 国立公衆衛生院に出向[疫学部慢性伝染病室長](昭和52年7月まで) 1971年(昭46)9月 国立公衆衛生院在職中、米国カリフォルニア大学ロスアンゼルス校医学部生物数学講座留学(昭和46年12月まで) 1977年(昭52)8月 自治医科大学教授[公衆衛生学講座担当] 1999年(平11)4月 埼玉県立大学教授(副学長) 2003年(平15)4月 埼玉県立大学学長 2007年(平19)7月 社団法人(現 公益社団法人)地域医療振興協会ヘルスプロモーション研究センターアドバイザー</p> <p>(受賞等) 日本疫学会功労賞</p> <p>(主な学会活動)</p> <p>1962年(昭37)4月 日本結核病学会会員[昭和56年4月-現在 同学会評議員](平成12年まで) 1962年(昭37)4月 日本公衆衛生学会会員[昭和50年7月-平成8年6月 同学会評議員、平成8年9月-20年8月 同学会理事、平成21年-名誉会員](現在に至る) 1965年(昭40)4月 日本衛生学会会員[昭和61年4月-現在 同学会評議員](平成12年まで) 1970年(昭45)1月 日本胸部疾患学会会員(昭和59年まで) 1973年(昭48)1月 日本消化器集団検診学会会員(平成1年まで) 1973年(昭48)4月 日本循環器管理研究協議会会員[昭和50年5月-平成2年4月 同協議会評議員、平成2年5月-12年 同協議会理事 名誉会員](現在に至る) 1975年(昭50)1月 日本小児科学会会員(平成23年まで) 1979年(昭54)1月 日本癌学会(平成6年まで) 1980年(昭55)10月 日本川崎病研究会会員[昭和55年10月-現在 同研究会運営委員、顧問](現在に至る) 1981年(昭56)4月 日本がん疫学研究会会員[昭和60年4月-平成7年8月 同研究会幹事、平成7年9月-現在 同研究会特別会員](現在に至る) 1983年(昭58)1月 日本小児保健学会会員(平成12年まで) 1991年(平 3)1月 日本疫学会会員[平成3年1月-平成6年12月 同学会理事、平成元年1月第3回日本疫学会会長、平成7年1月-10年1月 同学会理事長、現在名誉会員](現在に至る) 1993年(平 5)2月 英国王立医学協会公衆衛生医学部門フェロー(平成11年まで) 2002年(平14)4月 第61回日本公衆衛生学会実行委員会副委員長、学術部会長</p> <p>(主な社会活動)</p> <p><厚生省> 中央薬事審議会臨時委員、公衆衛生審議会委員、厚生統計協議会委員、公衆衛生審議会専門委員、公衆衛生審議会健康増進・栄養部会長、公衆衛生審議会クロイツフェルト・ヤコブ病専門委員会委員、医療保健福祉審議会専門委員、エイズ動向委員会委員長、食品衛生調査会臨時委員、老人保健事業推進・評価委員会委員長代理、院内感染対策委員会委員、「健康日本21」企画検討会委員、「健康日本21」計画策定検討会座長</p> <p><厚生労働省> 薬事・食品衛生審議会臨時委員食品衛生分科会員、厚生労働科学研究統計情報部統計情報高度利用総合研究推進事業専門委員会委員</p> <p><科学技術庁> 総合推進委員会委員</p> <p><文部省> 学術審議会専門委員[科学研究費分科会]</p> <p><文部科学省> 科学技術・学術審議会臨時委員(研究計画・評価分科会)、科学技術進行調整費生活社会基盤研究研究運営委員</p> <p><その他> 独立行政法人科学技術振興調整費ワーキンググループ委員、独立行政法人医薬品医療機器総合機構専門委員</p>